

令和6年1月4日
にかほ市農林水産課

令和4年度集落営農活性化プロジェクト促進事業の点検評価結果

本事業は、集落営農組織が、様々な経営課題を乗り越え、将来にわたって持続的に発展することができるよう、地域の関係機関のサポートを受けながら、集落営農の活性化に向けたビジョンづくりや若者等の雇用、高収益作物の試験栽培・販路開拓、共同利用機械等の導入など、地域の状況に応じた取組を総合的に支援するものです。

本事業の実施に当たって、事業実施主体（市町村）は、集落営農組織の経営発展に向けた取組の目標を設定し、事業を実施するものであり、今般、本市におけるこの目標の達成状況について以下の通り取りまとめましたので、その結果を公表します。

なお、指導を要する組織に対しては、関係機関が連携して、フォローアップを行います。

○ 各事業実施主体の達成状況

対象組織数	すべてのR4年度目標を達成した組織	指導を要する組織
2	1	1

※「すべてのR4年度目標を達成した組織」にはR4年度以降に目標を設定している組織も含む。

目標達成状況報告書（1年目）

都道府県名	市町村名	助成対象者名	当初採択年度	目標年度
秋田県	にかほ市	A組合	令和4年度	令和8年度

1 助成対象者の成果目標

項目	現状	目標 達成状況（上段：計画、下段：実績）					1年目 達成状況 （%）	実績を確認した 資料名等
		1年目 （当初採択年 度：R4年度）	2年目 （R5年度）	3年目 （R6年度）	4年目 （R7年度）	5年目 （目標年度： R8年度）		
1 継続的な発展のための体制の確立								
①	人材の確保							
②	人材の育成							
③	農地の集積	0 0	0 0	36 36	36 36	36 36	—	—
④ 経営の 高度化	組織の法人化	0 0	0 0	1 1	1 1	1 1	—	—
	就業規則の策定							
	複式簿記の導入	0 0	0 0	1 1	1 1	1 1	—	—
	GAPの導入							
2 継続的な発展のための収益性の改善								
①	事業の周年化							
②	高収益作物等の導入・拡大	0 0	0 0	50 50	70 70	100 100	—	—
③	加工品や直売等の導入・拡大							
④	農作業の省力化	2,000 2,235	2,000 2,000	1,880 1,880	1,880 1,880	1,880 1,880	—	作業日報集計表

2 達成状況に関する事業実施主体の所見（評価）

「農作業の省力化」について、実績は年度目標を235時間上回る2,235時間となり、目標を達成することができなかった。
令和5年度においては、コンバインの導入により省力化が進むと見込まれ、引き続き、目標達成に向けて業務の見直し等を進めていけるよう関係機関と連携してサポートしていきたい。

目標達成状況報告書（1年目）

都道府県名	市町村名	助成対象者名	当初採択年度	目標年度
秋田県	にかほ市	B組合	令和4年度	令和8年度

1 助成対象者の成果目標

項目	現状	目標 達成状況（上段：計画、下段：実績）					1年目 達成状況 （%）	実績を確認した資料名等
		1年目 （当初採択年度：R4年度）	2年目 （R5年度）	3年目 （R6年度）	4年目 （R7年度）	5年目 （目標年度：R8年度）		
1 継続的な発展のための体制の確立								
①	人材の確保							
②	人材の育成							
③	農地の集積	0 0	0	64	64	70	—	—
④ 経営の 高度化	組織の法人化	0 0	0	1	1	1	—	—
	就業規則の策定							
	複式簿記の導入	0 0	0	1	1	1	—	—
	GAPの導入							
2 継続的な発展のための収益性の改善								
①	事業の周年化							
②	高収益作物等の導入・拡大	0 0	0	0	70	100	—	—
③	加工品や直売等の導入・拡大							
④	農作業の省力化	2,000 1,950	2,000	1,880	1,880	1,880	—	作業日報集計表

2 達成状況に関する事業実施主体の所見（評価）

「農作業の省力化」について、実績は年度目標を50時間下回る1,950時間となり、目標を達成することができた。
令和5年度においては、コンバインの導入により省力化が進むと見込まれ、引き続き、目標達成に向けて業務の見直し等を進めていけるよう関係機関と連携してサポートしていきたい。